

1998年9月

報道各位

《健康ブームの実態を探る》

健康ニーズ基本調査より

社団法人日本能率協会グループの運営するメンバー制ビジネス情報提供サービス機関マーケティング・データ・バンクでは、日本人の健康ニーズとは何かを明らかにするため、食材や栄養素、話題となった栄養成分のイメージ、健康意識、生活実態・自覚症状、健康法等についてアンケート調査を実施いたしました。1998年6月に首都圏在住の15～69歳の男女個人1,500人を対象に行い、1,151人から有効回答を得ることができました。その中から、昨今の健康ブームにスポットをあて、マスコミの話題などからどのくらい影響を受けているのか調査結果をダイジェストでご報告します。

〔本件についてのお問い合わせ先〕

(株)日本能率協会総合研究所 マーケティング・データ・バンク

担当：土井/仁科/野元

電話：03-3578-7556

〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-38 秀和芝公園3丁目ビル4F

本件引用の際は、お手数ですが、上記あて掲載紙をご送付ください。

1. 双璧は「発掘！あるある大事典」「おもいっきりテレビ」

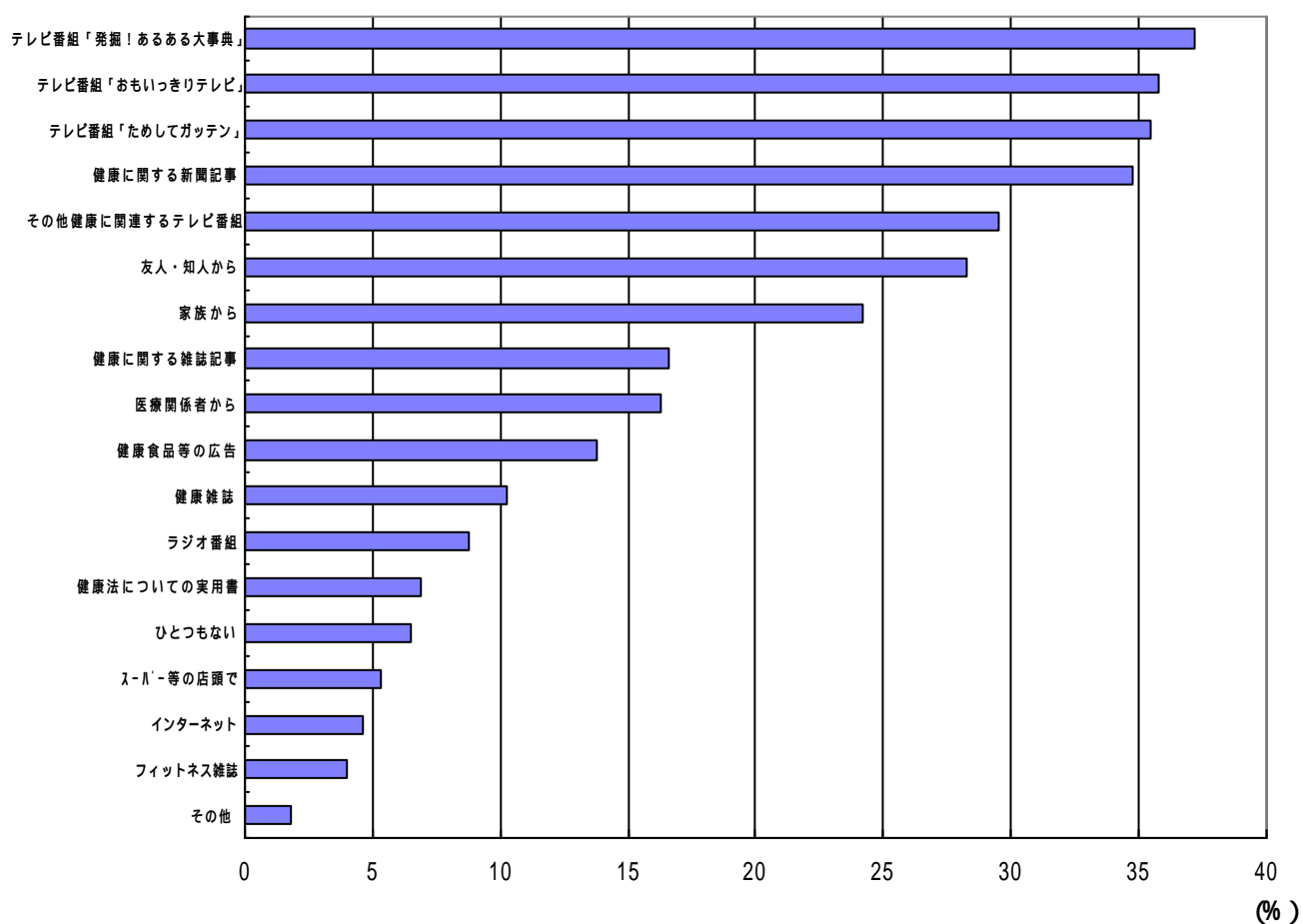
よく参考になっている健康に関する情報源

よく参考になっている健康に関する情報源について16の選択肢を用意して複数回答で聞いたところ、ベスト3は『テレビ番組「発掘！あるある大事典」』37%、『テレビ番組「おもいっきりテレビ」』36%、『テレビ番組「ためしてガッテン」』36%。以下『健康に関する新聞記事』『その他の健康に関するテレビ番組』『友人・知人から』となっており、健康関連の情報源としてマスコミ、特にテレビがかなり大きな影響力を持っている。

中でも「あるある」は20代・30代女性の過半数、「おもいっきり」は40代・50代・60代女性の過半数が参考に使っていると回答している。

テレビ番組以外では、「新聞記事」を情報源にする人は男女とも3割以上。「友人・知人」「家族から」の情報を参考にする人も多い。また全体では5%未満だが、『インターネット』は30代・40代男性の1割強が、『フィットネス雑誌』は20代男性の13%が情報源としている。

よく参考になっている健康に関する情報源



2. 女性が牽引する『赤ワイン』ブーム

からだにいいと話題になって気になったもの

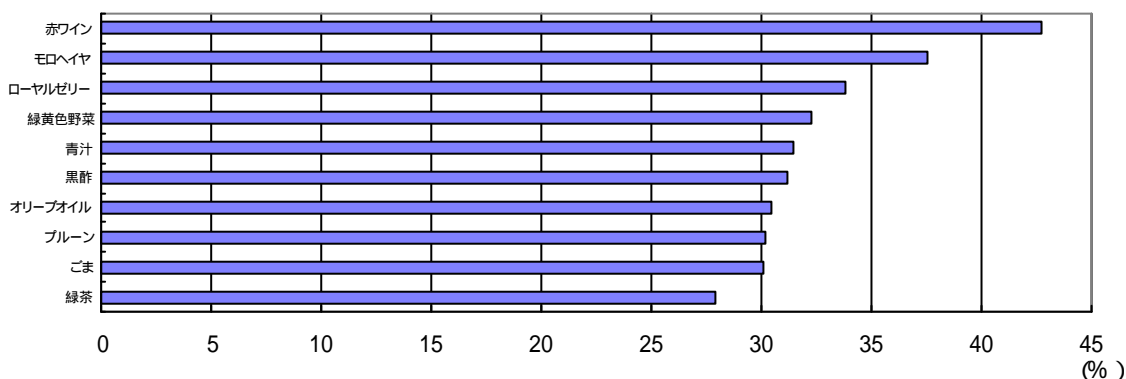
65品目の食品をあげてからだにいいと話題になって気になったものを聞いたところ、ベスト5は『赤ワイン』『緑黄色野菜』『モロヘイヤ』『ローヤルゼリー』『青汁』の順でいずれも3割以上の割合。

女性の上位をみると『赤ワイン』『モロヘイヤ』『緑黄色野菜』『黒酢』『オリーブオイル』『ごま』『緑茶』とここ数年テレビで取り上げられるなどブームとなった食品が並ぶ。一方男性の上位は全体的にスコアも小さく、『緑黄色野菜』『青汁』『ローヤルゼリー』など旧来からからだにいいとされてきたものの人気が根強い。

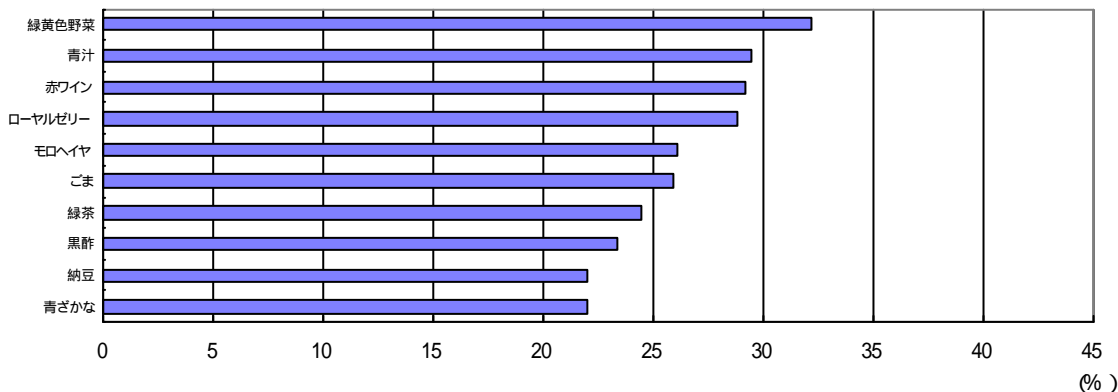
男女年代別にみると、昨年の話題の『赤ワイン』を回答した人は50代女性で55%、30代女性で48%に達するなど、健康食材ブームを女性がリードしている。

からだにいいと話題になって気になったもの

<女性ベスト10>



<男性ベスト10>



[今回の調査について]

「健康ニーズ基本調査」は、日本人の健康ニーズとは何かを明らかにするため、食材や栄養素、話題となった栄養成分のイメージ、健康意識、生活実態・自覚症状、健康法等についてアンケート調査を実施いたしました。1998年6月に首都圏在住の15～69歳の男女個人1,500人を対象に行い、1,151人から有効回答を得ることができました。

本調査は、弊社自主企画による調査に複数企業にご参加いただく方式でいたしました。調査は終了しておりますが、調査結果一式のご提供は下記費用を申し受けます。

・費用：1社につき定価36万円(MDBメンバーは32万円)

*別途消費税を申し受けます。

・調査のアウトプット

調査報告書 (A4版 38ページ)

集計結果表 (A4版 362ページ)

・調査概要 ・調査票 ・自由回答一覧票 ・単純集計表

・クロス集計表 性別/年齢/結婚歴/職業/家族構成/該当事項/野菜の購入/常備野菜・ニーズの高い野菜/加工野菜/目新しい野菜/野菜全般についての意識と行動/野菜の表示についてのことばのイメージ/食生活全般の意識と実態

[マーケティング・データ・バンクとは]

マーケティング・データ・バンクは、社団法人日本能率協会グループのシンクタンク、株式会社日本能率協会総合研究所(略称:日能総研 社長:高地高司 本社:東京都港区)の運営する、国内最大級のメンバー制ビジネス情報提供サービス機関です。

開設以来30年近く、日本を代表する様々な業種の企業約2,000社の企画/調査/営業/技術部門の方々にご利用いただいております。官庁統計、公開調査資料、業界紙、各種民間企業発表資料など約12万冊の蔵書を有し、独自の検索システムを構築いたしております。

各種業界事情に通じ検索手法をマスターしたスタッフにより、さまざまなビジネスデータを提供することが可能です。

電話1本で必要な情報を入手できるシステムとして、年間約12万件のメンバー企業のお問い合わせに的確、迅速に対応し、情報収集のパートナーとして高い評価をいただいております。

[本件についてのお問い合わせ先]

(株)日本能率協会総合研究所 マーケティング・データ・バンク

担当:土井/仁科/野元

電話:03-3578-7556

〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-38 秀和芝公園3丁目ビル4F

本件引用の際は、お手数ですが、上記あて掲載紙をご送付ください。